

2016年度(2016年4月～2016年3月)  
公衆衛生看護学分野 業績

分野構成(2017年4月1日時点)

教授:大森純子、准教授:田口敦子、助手:竹田香織、研究補佐員2名  
大学院(博士課程)5名、大学院(修士課程)11名、卒業研究生10名

主な研究テーマ

米国の公衆衛生領域で主流となっている(CBPR:Community Based Participatory Research)という研究スタイルを用い、保健師など保健行政の関係職種や住民の方々と一緒に、「"地域への愛着"を育む健康増進プログラムの開発」、「近隣住民間の交流促進プログラムの開発」などに組み込み、個人変容と社会変容に参画しています。また、コミュニティの互助促進を含む、行政と住民ボランティアの効果的な協働方法を探索しています。

【主な研究テーマ】

1. 文化と健康観・ヘルスプロモーションに関する研究
2. 地域への愛着と健康に関するプログラム開発, 地域への愛着を育む方法論(メソッド)開発
3. コミュニティの互助促進に関する研究
4. 行政と住民ボランティアの効果的な協働方法および評価に関する研究
5. 地域保健をめぐる政治・行政に関する研究

主な研究業績(2014年1月以降) ※2014年1月に分野新設のため

【主な研究論文】

- ・ 大森純子, 三森寧子, 小林真朝, 小野若菜子, 安齋ひとみ, 高橋和子, 宮崎紀枝, 酒井太一, 齋藤美華. 公衆衛生看護のための“地域への愛着”の概念分析. 日本公衆衛生看護学会誌. 2014;3(1):40-48.
- ・ 大森純子, 小林真朝, 小野若菜子, 麻原きよみ. コミュニティアセスメントの実践的演習の成果. 聖路加看護大学紀要. 2014; 40:105-11.
- ・ Taguchi A, Murayama H, Murashima S. Association between municipal health promotion volunteers' health literacy and their level of outreach activities in Japan. PLoS ONE, 2016; 11(10).
- ・ 酒井太一, 大森純子, 高橋和子, 他. 向老期世代における“地域への愛着”測定尺度の開発. 日本公衆衛生雑誌, 2016; 63(11), 664-674.

【主な著書】

- ・ 大森純子. 神馬征峰, 大森純子, 宮本有紀(編). 系統看護学講座 健康支援と社会保障制度②公衆衛生, 第2章 公衆衛生の活動対象, 東京:医学書院, 45-60, 2015.
- ・ 大森純子(分担執筆)鳩野洋子, 島田美喜(編)公衆衛生実践キーワード, 地域保健活動の今がわかる明日がみえる, 東京:医学書院, 2015.

【主な学会発表】

- ・ 田口敦子, 三笠幸恵, 三森寧子, 小林真朝, 小野若菜子, 高橋和子, 酒井太一, 宮崎紀枝, 安齋ひとみ, 齋藤美華, 大森純子. “地域への愛着”を育む健康増進プログラムの開発 第1報 プログラムの作成と実施. 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2016 Jan23-24; 東京
- ・ 酒井太一, 高橋和子, 三森寧子, 小林真朝, 齋藤美華, 三笠幸恵, 小野若菜子, 宮崎紀枝, 田口敦子, 安齋ひとみ, 大森純子. “地域への愛着”を育む健康増進プログラムの開発 第2報 量的データによる評価. 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2016 Jan23-24; 東京
- ・ 宮崎紀枝, 齋藤美華, 小野若菜子, 三森寧子, 酒井太一, 高橋和子, 小林真朝, 三笠幸恵, 田口敦子, 安齋ひとみ, 大森純子. “地域への愛着”を育む健康増進プログラムの開発 第3報 質的データによる評価. 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2016 Jan23-24; 東京

## 1. 原著論文・総説(査読あり)

- Kawasaki C, Omori J, Ono W, Konishi E, Asahara K. Public Health Nurses' Experiences in Caring for the Fukushima Community in the Wake of the 2011 Fukushima Nuclear Accident. *Public Health Nurs.* 2016;33(4):335-42.
- Kameoka J, Iwazaki J, Takahashi F, Sato F, Sato K, Taguchi A, Nakamura Y, Ishii S, Kagaya Y. Number of papers published in English from the nursing departments of 42 national universities in Japan in the past ten years. *Nurse Educ Today.* 2016;38:138-143.
- Taguchi A, Murayama H, Murashima S. Association between municipal health promotion volunteers' health literacy and their level of outreach activities in Japan. *PLoS ONE*, 2016;11(10).
- Tanaka C, Naruse T, Taguchi A, Nagata S, Arimoto A, Ohashi Y, et al. Conformity to the neighborhood modifies the association between recreational walking and social norms among middle-aged Japanese people. *Japan Journal of Nursing Science.* 2016;13(4):451-65.
- 酒井太一, 大森純子, 高橋和子, 他. 向老期世代における“地域への愛着”測定尺度の開発. *日本公衆衛生雑誌*, 2016; 63(11), 664-674.
- 田口敦子, 吉澤彩, 岩崎昭子, 鈴木順一郎, 永田智子. 人口の少ない地域における訪問看護ニーズの実態 —訪問看護を利用できない地域に居住する要介護者の実態に焦点を当てて—, *厚生*の指標. 2016;63(1):7-15.

## 2. 著書

## 3. 原著論文・総説(査読なし)/紀要・解説

- 大橋由基, 新村 津代子, 有本 梓, 渡井 いずみ, 成瀬 昂, 田口 敦子, 永田 智子, 村嶋 幸代. 修士課程保健師コースにおける生活習慣病予防を目的とした地域診断・活動展開実習の事例 —山間部の高塩分食・喫茶店のモーニング文化と保健師活動. *保健師ジャーナル*. 2016;72(11):946-952.
- 大森純子, 三森寧子, 小林真朝, 小野若菜子, 安齋ひとみ, 高橋和子, 宮崎紀枝, 酒井太一, 齋藤美華. 公衆衛生看護のための“地域への愛着”概念分析. *東北医学雑誌*. 2016;128:92-93.
- 田口敦子, 村山洋史, 宮尾智香子, 大澤吉子, 五坪千恵子. バランスよく食べて介護いらずの生活を！ —彦根市における健康推進員主導の健康教室. *保健師ジャーナル*. 2016;72(11):893-934.
- 田口敦子, 三笠幸恵, 三森寧子, 小林真朝, 小野若菜子, 高橋和子, 酒井太一, 宮崎紀枝, 安齋ひとみ, 齋藤美華, 大森純子 “地域への愛着”を育む健康増進プログラムの開発 第1報 プログラムの作成と実施. *東北医学雑誌*. 2016;128:94.

## 4. 国際学会発表

- Asahara K, Kobayashi M, Konishi E, Anzai Y, Miyazaki M, Miyazaki T, Omori J, Ono W, Mitsumori Y, Nagai T. Development of public health nursing ethics education for nursing students. The 4th International Global Network of Public Health Nursing Conference; 2016 Sep 19-20; Billund.
- Takanashi K, Kamei T, Hishinuma M, Omori J, Asahara K, Arimori N, Shimpuku Y, Tashiro J, Ohashi K. Concepts of a People-Centered Care Model Based on Shared Partnerships between Community People and Health Care Professionals in the Unprecedented Japanese Aging Society, 11th Biennial Conference of the Global Network of WHO Collaborating Centres for Nursing and Midwifery; 2016 Jul 28-29; Glasgow
- Yamagata C, Fukahori H, Taguchi A, Matsumoto S, Kanno Y, Masuda N, Adachi M, Miyashita M. Development of a checklist for an integrated care pathway for end-of-life care in a private nursing home in Japan. 19th East Asia Forum of Nursing Scholars; 2016 Mar 14-15; Makuhari

## 5. 国内学会発表

- 大森純子, 田口敦子, 大橋由基, 柳澤萌美. 卒業研究に概念分析を適用することによる教育的効果. 第4

回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2016 Jan23-24; 東京

- ・ 沖永美幸, 白川美弥子, 藤春千恵美, 佐伯由美, 矢津剛, 伊藤うらら, 田口敦子, 深堀浩樹, 山縣千尋, 菅野雄介, 宮下光令. 在宅緩和ケアの質担保に向けた教育プログラムの開発. 日本緩和医療学会; 2016 Jun17-18; 京都
- ・ 酒井太一, 高橋和子, 三森寧子, 小林真朝, 齋藤美華, 三笠幸恵, 小野若菜子, 宮崎紀枝, 田口敦子, 安齋ひとみ, 大森純子. “地域への愛着”を育む健康増進プログラムの開発 第2報 量的データによる評価. 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2016 Jan23-24; 東京
- ・ 佐藤日菜, 浦山美輪, 山内悦子, 深谷真理子, 田口敦子, 永田智子, 戸村ひかり, 鷺見尚己. 特定機能病院に勤務する外来看護師による在宅療養支援の実態(第2報)質問紙調査による支援状況の明確化. 日本地域看護学会 第19回学術集会; 2016 Aug26-27; 栃木
- ・ 関谷幸子, 五坪千恵子, 田口敦子, 山崎菜穂子, 村山洋史. 「食品摂取多様性」に焦点をあてた健康推進員主導の健康教室を実施して(第2報)～健康推進員の活動意識の変化～. 第46回滋賀県公衆衛生学会; 2016 Feb21; 滋賀
- ・ 田口敦子, 三笠幸恵, 三森寧子, 小林真朝, 小野若菜子, 高橋和子, 酒井太一, 宮崎紀枝, 安齋ひとみ, 齋藤美華, 大森純子. “地域への愛着”を育む健康増進プログラムの開発 第1報 プログラムの作成と実施. 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2016 Jan23-24; 東京
- ・ 田口敦子, 佐藤日菜, 浦山美輪, 山内悦子, 深谷真理子, 永田智子, 戸村ひかり, 鷺見尚己. 特定機能病院に勤務する外来看護師による在宅療養支援の実態(第1報)ヒアリング調査による支援内容の明確化. 日本地域看護学会 第19回学術集会; 2016 Aug26-27; 栃木
- ・ 西倉恵美, 五坪千恵子, 村山洋史, 菊池弘恵, 田口敦子. 「食品摂取多様性」に焦点をあてた健康推進員主導の健康教室を実施して(第1報)～参加者への効果～. 第46回滋賀県公衆衛生学会; 2016 Feb21; 滋賀
- ・ 宮尾智香子, 五坪千恵子, 田口敦子, 村山洋史. 健康推進員組織の維持・活性化を目指した研修会の効果. 第46回滋賀県公衆衛生学会; 2016 Feb21; 滋賀
- ・ 宮崎紀枝, 齋藤美華, 小野若菜子, 三森寧子, 酒井太一, 高橋和子, 小林真朝, 三笠幸恵, 田口敦子, 安齋ひとみ, 大森純子. “地域への愛着”を育む健康増進プログラムの開発 第3報 質的データによる評価. 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2016 Jan23-24; 東京
- ・ 柳澤萌美, 大橋由基, 田口敦子, 大森純子. “一次予防における環境”の概念分析. 第4回日本公衆衛生看護学会学術集会; 2016 Jan23-24; 東京

6. 外部資金獲得(主任研究)※2016年度の新規獲得のみ(継続分は昨年度報告済み)

- ・ 田口敦子(主任研究者)コミュニティの互助促進に向けた行政育成型住民組織の効果的な活動モデルの開発. 平成28年度 科学研究費補助金(基盤研究(C))2016 Apr-2018 Mar

7. 外部資金獲得(分担研究)※2016年度の新規獲得のみ(継続分は昨年度報告済み)

--

8. 外部資金獲得(その他)※2016年度の新規獲得のみ(継続分は昨年度報告済み)

--